2026年11月27日

原料費調整制度に基づくガス料金の調整について(江別地区)
(2027年1月検針分)

旭川ガス株式会社
(小売登録番号:B0003)

当社では、本日確定した2026年8月から2026年10月の平均原料価格に基づき、2027年1月検針分のガス料金(単位料金)を、2026年12月検針分に比べ1㎥あたり0.62円(税込)上方に調整させていただくこととなりましたので、お知らせいたします。

これにより、標準家庭(1ヶ月あたり11㎥ご使用)への影響は、2026年12月検針分と比較して、7円の引き上げとなります。

なお、政府によるガス料金負担軽減支援により、2027年1月検針分～2027年3月検針分のガス料金が値引きされます。2027年1月検針分は1㎥あたり4円の値引き、2027年2月検針分・3月検針分は1㎥あたり18円の値引きとなります。

○一般契約料金　(消費税込)

	使用量区分	基本料金(円/月)	単位料金(円／㎥)		影響額(円／㎥)
			1月	12月	
料金表A	0㎥から 23㎥まで	917.40	289.52	288.90	0.62
料金表B	23㎥を超え134㎥まで	1,309.00	272.89	272.27	0.62
料金表C	134㎥を超える場合	3,223.00	258.61	257.99	0.62

(注)各月のご使用量に応じて、A～Cの各料金が適用されます。

○標準家庭における影響　(消費税込)

1ヶ月のご使用量	1月のガス料金	12月のガス料金	影響額
11㎥	4,102 円	4,095 円	+7 円

(注)標準家庭のガス使用量は、平成26年度の平均使用量実績に基づき算定しています。

*ガス料金の計算方法

ガス料金 = **基本料金(税込)** + **単位料金**(**基準単位料金(税込)** + **原料費調整による調整額(税込)**) × **使用量**

(円未満切り捨て)

＜参考資料＞
1.平均原料価格について

＜平均原料価格の算出式＞

平均原料価格 ＝ LNG平均価格 ×0.9503 ＋ プロパン平均価格 ×0.0546

121,780 (円／t) ×0.9503 ＋ 115,360 (円／t) ×0.0546

＝ 122,030 (円／t)(10円未満四捨五入)

■原料価格の動向 (円／t)

	2026年8月～2026年10月（1月検針分）	2026年7月～2026年9月（12月検針分）	基準平均原料価格
平均原料価格	122,030	117,050	58,680
LNG平均価格	121,780	116,780	
プロパン平均価格	115,360	111,220	

原料価格変動額 ＝ 平均原料価格 － 基準平均原料価格

＝ 122,030 (円／t) － 58,680 (円／t)

＝ 63,300 (円／t)(100円未満切捨て)

2.単位料金の調整について

＜単位料金の算出式＞

単位料金 ＝ 基準単位料金 ＋ 単位料金調整額

単位料金調整額 ＝ 0.084 (円／㎥) × 原料価格変動額 ／ 100 (円／t) × (1+消費税率)

＝ 0.084 (円／㎥) × 63,300 (円／t) ／ 100 (円／t) × 1.1

＝ 58.48 (円／㎥) 小数点第3位切捨て

（※）原料価格変動額100円/tにつき、1㎥あたり0.084円調整します

(円／㎥)

	基準単位料金	単位料金調整額	1月単位料金
料金表A	235.04	54.48	289.52
料金表B	218.41		272.89
料金表C	204.13		258.61

(消費税込)

※政府の支援で、4円／㎥が値引きされています

【原料費調整制度の概要】

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（1㎥あたりの単価）を調整する制度です。
- 「基準平均原料価格（58,680円／t）」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、プロパンの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、1㎥あたり0.084円単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動については、LNG、プロパンとも貿易統計実績によります。